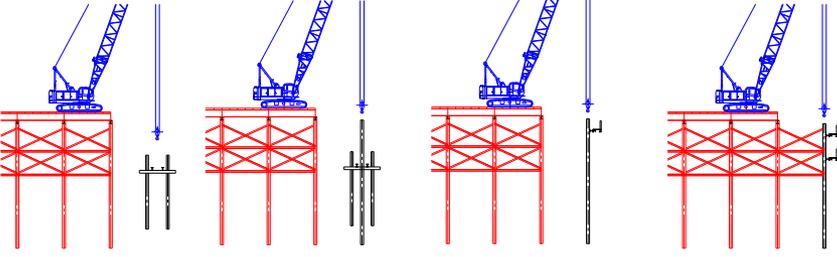


採用

CASE-1 ; 従来工法



①導材設置 ⇒ ②削孔根固打設 ⇒ ③足場設置・杭頭処理 ⇒ ④プレス・水平材
～上部工設置

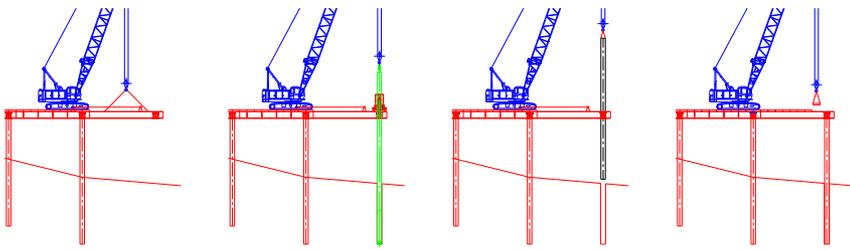


CASE-2 ; 新技術・新工法 (SqCピア工法)

安全性の確保と工期を短縮

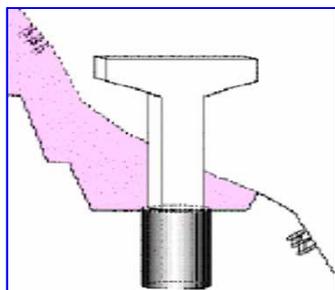


①パネルセット ⇒ ②削孔 ⇒ ③支持杭建込・根固打設 ⇒ ④上部工設置



付替道路(工事用進入路を含む)に関して、設計の見直し、構造の工夫、施工方法の工夫、新技術の活用等によりコスト縮減。

CASE-1 ; 従来工法 (切土+法面保護)

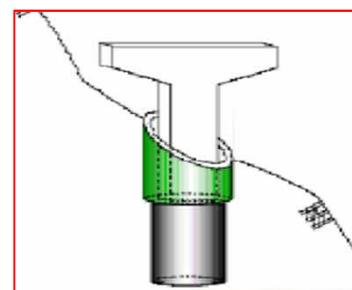


※写真は他事業の事例

工事費 ; 約200百万円



CASE-2 ; 新工法 (竹割土留工法)



採用



※写真は他事業の事例

工事費 ; 約189百万円

新工法である「竹割土留工法」を活用し、切土や法面保護の費用を縮減。
今回、約11百万円のコスト縮減となることに加えて、地山の掘削面積を抑制したことにより環境に与える影響の縮小を図る。